

令和 8 年度大型灰化炉・大型乾燥機保守点検業務仕様書

(目的)

第 1 条 この仕様書は、福島県（以下「甲」という。）が受託者（以下「乙」という。）に対し、福島県環境創造センター環境放射線センターに環境試料の灰化・乾燥処理を行うために設置している大型灰化炉と大型乾燥機の保守点検について、その仕様を定めたものである。

(保守点検対象機器)

第 2 条 保守点検の対象とする機器は次のとおりとする。

大型灰化炉 2 式（株式会社熱計装製、NCF-3020SPD 型）

大型乾燥機 2 式（株式会社熱計装製、NCO-3045 型）

脱臭装置 1 式（株式会社熱計装製、NKT-100KSP 型）

(保守点検内容)

第 3 条 保守点検は、次のとおり実施するものとする。

(1) 定期点検

ア 精密点検 年 1 回（大型灰化炉・大型乾燥機・脱臭装置）

イ 簡易点検 年 1 回（大型灰化炉）

(2) 保守点検項目

別紙「点検要領書兼報告書」に記載された項目とする。

(3) 保守点検時期

契約締結日から令和 9 年 3 月 26 日までに実施するものとする。

(受託者の負担限界)

第 4 条 保守点検に必要な部品、消耗品、技術料及び交通費等については乙の負担とする。

ただし、不可抗力による部品の大量損耗及び一点が 1 万円以上の部品を交換する場合は、甲の了解を得た後、甲の負担において交換するものとする。

(保守点検結果の報告)

第 5 条 乙は、定期点検の結果を報告書にまとめ、当該点検終了日から 1 ヶ月以内又は年度内のいずれか早い時期に甲に提出するものとする。

なお、報告書の提出部数は 2 部とする。

(施設等の現状維持)

第 6 条 乙は、庁舎又は機器等に損害を与えた場合は、直ちに甲に報告するとともに、乙の責任において速やかに原状に回復させるものとする。

(保守点検実施上の注意)

第7条 本業務にかかる技術上の管理として主任技術者を定めるものとする。主任技術者は、本業務の内容を熟知し、本業務の履行に必要な知識及び経験を有するものとする。

(機器の停止)

第8条 保守点検業務の実施に当たって、機器の機能を停止する必要がある場合は、甲の指示に従って実施し、終了後は通常の運用状態に復帰させるものとする。

また、作業は能率的に行い、機能を停止する時間を最小限にするものとする。

(作業時間)

第9条 保守点検業務の作業時間は、原則として甲の勤務時間である平日 8:30～17:15 内とする。

また、これ以外の時間帯に実施する必要がある場合は、事前に甲の了解を得るものとする。

(提出書類)

第10条 乙は甲に対して契約締結後速やかに次の書類を提出するものとする。

- (1) 委託業務着手届
- (2) 委託業務工程表
- (3) 主任技術者選任届
- (4) 連絡組織体制表

(その他)

第11条 前条までに定めのない事項については、次のとおりとする。

- (1) 甲は、保守点検業務に関して、乙に必要な報告書等の書類提出を求めることができるものとする。
- (2) この仕様書に疑義を生じた場合は、別途甲が指示するものとする。

《点検要領書兼報告書》

[精密検査]

1. 灰化炉

番号	点検項目	点検要領	判定基準	点検	修理	調整	交換	清掃	判定	
									NO1	NO2
1	外観点検	・ 外観の目視確認	・ 歪み、汚れ、塗装剥がれが無いこと							
2	扉の開閉点検	・ 炉扉を開閉し動作確認	・ 開閉時負荷が無いこと							
3	扉の密閉点検	・ 炉扉のパッキンあたり具合(密閉)を確認	・ パッキンの周辺に噴出し痕がないこと							
		・ パッキンの品質確認	・ 亀裂、硬化、破損、ほつれ等無いこと							
4	入口額縁点検	・ 額縁を清掃確認	・ タール等の汚れが無いこと							
5	内部点検	・ ヒーターの確認	・ 割れ、変色、亀裂、破損が無いこと							
		・ 断熱材の確認	・ 割れ、灰化に影響する破損が無いこと							
		・ 炉内の異物等確認	・ 性能に影響するタール等が無いこと							
6	給気口点検	・ 給気口の目視確認	・ 障害物・目詰まり等が無いこと							
7	排気口点検	・ 炉内部から配管内を目視確認	・ 煤等により排気口が塞がれていないこと							
8	熱電対点検	・ 熱電対の目視確認	・ 破損が無いこと							
9	棚段点検	・ 棚段の目視確認	・ 性能に影響する変形等が無いこと							
10	ダンパー点検	・ 排気口ダンパー動作確認	・ ダンパーハンドルの回転に応じて開閉すること							
11	フード点検	・ フード目視確認	・ 歪み、汚れが無いこと							
12	排気部点検	・ 排気部の目視確認	・ 連結部が外れていないこと							
			・ タール等汚れが付着していないこと							
13	ヒーター結線点検	・ ヒーターの結線を目視確認	・ 電線に亀裂、破損が無いこと							
			・ 端子部に緩みが無いこと							

2. 脱臭炉

番号	点検項目	点検要領	判定基準	点検	修理	調整	交換	清掃	判定	
									NO1	NO2
14	外観点検	・ 外観の目視確認	・ 歪み、汚れ、塗装剥がれが無いこと							
15	内部点検	・ ヒーターの確認	・ 割れ、変色、亀裂、破損が無いこと							
		・ 断熱材の確認	・ 割れ、性能に影響する破損が無いこと							
		・ 炉内の異物等確認	・ 性能に影響するタール等が無いこと							
16	排気口点検	・ 炉内部から配管内を目視確認	・ 煤等により排気口が塞がれていないこと							
17	熱電対点検	・ 熱電対の目視確認	・ 破損が無いこと							
18	白金触媒点検	・ 白金触媒を取り出し確認及び洗浄	・ 純水洗浄を行う							
			・ 表面に性能に影響する破損が無いこと							
19	排気管点検	・ 排気管を目視確認	・ 連結部が外れていないこと							
			・ 耐熱テープが剥がれていないこと							
20	外気導入口点検	・ 外気導入口を目視確認	・ 異物により塞がれていないこと							
			・ ダンパー位置がずれていないこと							
21	排気部配管点検	・ 排気部の配管を目視確認	・ 連結部が外れていないこと							
			・ タール等汚れが付着していないこと							
			・ 配管固定用ボルトに緩みが無いこと							
22	ヒーター結線点検	・ ヒーターの結線を目視確認	・ 電線に亀裂、破損が無いこと							
			・ 端子部に歪みが無いこと							

3. 制御盤

番号	点検項目	点検要領	判定基準	点検	修理	調整	交換	清掃	判定	
									NO1	NO2
23	外観点検	・ 外観の目視確認	・ 歪み、汚れ、塗装剥がれが無いこと							
24	充電部点検	・ 充電部の目視確認	・ 焼け等破損が無いこと							
			・ 動力回路のビスに緩みが無いこと							
25	安全装置警報検査	確認及び表示灯確認	動作すること							
		・ 灰化炉ヒーター漏電	・ 全停止すること。							
		・ 灰化炉ヒーター異常	・ 全停止すること。							
		・ 灰化炉炉内温度異常過熱	・ 全停止すること。							
		・ 脱臭炉ヒーター漏電	・ 全停止すること。							
		・ 脱臭炉炉内温度異常過熱	・ 全停止すること。							
		・ 給気ブロワ—異常	・ 全停止すること。							
		・ 排気ブロワ—異常	・ 全停止すること。							
26	プログラム運転検査	・ 自動運転を行う	プログラムにより下記機器が動作すること							
			・ 灰化炉							
			・ 脱臭炉							
			・ 排気ブロワ—							
			・ 給気ブロワ—							
			・ 冷却ブロワ—							

4. 制御盤収納機器性能検査

①. ヒーター通電積算時間表

	NO 1 大型灰化炉	NO 2 大型灰化炉	
前回測定時間 (R 年 月 日)	h r	h r	
今回測定時間 (R 年 月 日)	h r	h r	

②. 灰化炉/脱臭炉ヒーター回路絶縁抵抗測定

点検内容と方法	判定基準	結 果				備 考
ヒーター回路端子とアース端子間に DC250V を印加しメグオームテスターで絶縁抵抗値を測定します	0.2MΩ 以上 / DC250V	NO 1 大型灰化炉	判定	NO 2 大型灰化炉	判定	
		上段 HU1 = MΩ (MΩ)		上段 HU1 = MΩ (MΩ)		
		上段 HV1 = MΩ (MΩ)		上段 HV1 = MΩ (MΩ)		
		中段 HV2 = MΩ (MΩ)		中段 HV2 = MΩ (MΩ)		
		中段 HW2 = MΩ (MΩ)		中段 HW2 = MΩ (MΩ)		
		下段 HW3 = MΩ (MΩ)		中段 HW2 = MΩ (MΩ)		
		下段 HU3 = MΩ (MΩ)		下段 HU3 = MΩ (MΩ)		
結果の () 内は前回測定値	0.2MΩ 以上 / DC250V	脱臭炉 U4 = MΩ (MΩ)		脱臭炉 U4 = MΩ (MΩ)		
		脱臭炉 V4 = MΩ (MΩ)		脱臭炉 V4 = MΩ (MΩ)		
		脱臭炉 W4 = MΩ (MΩ)		脱臭炉 W4 = MΩ (MΩ)		

③. 灰化炉/脱臭炉ヒーター回路抵抗測定

点検内容と方法	判定基準	結 果				備 考
ヒーター回路端子間の抵抗値をテスターで測定します。	3.3Ω ± 0.5Ω	NO 1 大型灰化炉	判定	NO 2 大型灰化炉	判定	
		上段 HU1-HV1 Ω (Ω)		上段 HU1-HV1 Ω (Ω)		
		中段 HV2-HW2 Ω (Ω)		中段 HV2-HW2 Ω (Ω)		
		下段 HW3-HU3 Ω (Ω)		下段 HW3-HU3 Ω (Ω)		
結果の () 内は前回測定値	8.6Ω ± 5Ω	脱臭 U4-V4 Ω (Ω)		脱臭 U4-V4 Ω (Ω)		
		脱臭 V4-W4 Ω (Ω)		脱臭 V4-W4 Ω (Ω)		
		脱臭 U4-W4 Ω (Ω)		脱臭 U4-W4 Ω (Ω)		

④. 灰化炉/脱臭炉ヒーター出力測定

点検内容と方法	判定基準	結 果				備 考
ヒーター出力 100%時の電流値を クランプテスターで測定します 結果の（ ）内は前回測定値	各相 60A 以下	NO 1 大型灰化炉	判定	NO 2 大型灰化炉	判定	
		上段 HU1＝ A (A)		上段 HU1＝ A (A)		
		上段 HV1＝ A (A)		上段 HV1＝ A (A)		
		中段 HV2＝ A (A)		中段 HV2＝ A (A)		
		中段 HW2＝ A (A)		中段 HW2＝ A (A)		
		下段 HW3＝ A (A)		下段 HW3＝ A (A)		
	各相 30A 以下	脱臭炉 U4＝ A (A)		脱臭炉 U4＝ A (A)		
		脱臭炉 V4＝ A (A)		脱臭炉 V4＝ A (A)		
		脱臭炉 W4＝ A (A)		脱臭炉 W4＝ A (A)		

使用計測機器

- ① 絶縁抵抗測定
- ② 抵抗値測定
- ③ 電流値測定

5. 灰化炉温度分布測定

点検内容と方法	判定基準	結 果				備 考
炉内温度を 4 5 0℃に昇温して 温度を 3 0分以上保持する	各段温度 4 5 0℃± 5℃ (各温度調節計表示温度)	NO 1 大型灰化炉	判定	NO 2 大型灰化炉	判定	
		上段温度 ℃		上段温度 ℃		
		中段温度 ℃		中段温度 ℃		
		下段温度 ℃		下段温度 ℃		

6. 各計器表示温度校正（精密点検時）

NO 1 大型灰化炉

名 称	上段温度調節計			中段温度調節計			下段温度調節計			脱臭炉温度調節計			電気炉過熱防止器			脱臭炉過熱防止器		
	計測値 (°C)			計測値 (°C)			計測値 (°C)			計測値 (°C)			計測値 (°C)			計測値 (°C)		
基準入力	測定値	修正値	判定	測定値	修正値	判定	測定値	修正値	判定	測定値	修正値	判定	測定値	修正値	判定	測定値	修正値	判定
100°C	°C	—		°C	—		°C	—		°C	—		°C	—		°C	—	
250°C	°C	—		°C	—		°C	—		°C	—		°C	—		°C	—	
450°C	°C	—		°C	—		°C	—		°C	—		°C	—		°C	—	
	シフト設定値 0°C			シフト設定値 0°C			シフト設定値 0°C			シフト設定値 0°C			シフト設定値 0°C			シフト設定値 0°C		

※判定基準± 3 °C以内

NO 2 大型灰化炉

名 称	上段温度調節計			中段温度調節計			下段温度調節計			脱臭炉温度調節計			電気炉過熱防止器			脱臭炉過熱防止器		
	計測値 (°C)			計測値 (°C)			計測値 (°C)			計測値 (°C)			計測値 (°C)			計測値 (°C)		
基準入力	測定値	修正値	判定	測定値	修正値	判定	測定値	修正値	判定	測定値	修正値	判定	測定値	修正値	判定	測定値	修正値	判定
100°C	°C	—		°C	—		°C	—		°C	—		°C	—		°C	—	
250°C	°C	—		°C	—		°C	—		°C	—		°C	—		°C	—	
450°C	°C	—		°C	—		°C	—		°C	—		°C	—		°C	—	
	シフト設定値 0°C			シフト設定値 0°C			シフト設定値 0°C			シフト設定値 0°C			シフト設定値 0°C			シフト設定値 0°C		

※判定基準± 3 °C以内

使用計測機器

① 温度校正

7. 大型乾燥機

番号	点検項目	点検要領	判定基準	点検	修理	調整	交換	清掃	判定	
									NO1	NO2
1	外観点検	・ 外観の目視確認	・ 歪み、汚れ、塗装剥がれが無いこと							
2	扉の開閉点検	・ 炉扉を開閉し動作確認	・ 開閉時負荷が無いこと							
3	扉の密閉点検	・ 炉扉のパッキンあたり具合(密閉)を確認	・ パッキンの周辺に噴出し痕がないこと							
		・ パッキンの品質確認	・ 亀裂、硬化、破損等が無いこと							
4	扉ロット棒点検	・ ロット棒を目視確認	・ 破損等がないこと							
5	内部点検	・ ヒーターの目視確認	・ 破損が無いこと							
		・ 炉内の異物等確認	・ 異物が無いこと							
6	給気口点検	・ 給気口の目視確認	・ 障害物・目詰まり等無いこと							
7	排気口点検	・ 炉内部から配管内を目視確認	・ 煤等により排気口が塞がれて無いこと							
8	熱電対点検	・ 熱電対の目視確認	・ 破損が無いこと							
9	棚段点検	・ 棚段の目視確認	・ 性能に影響する変形等が無いこと							
10	ファンベルトの交換	・ ファンベルトの交換後目視確認	・ 緩みがないこと							
			・ 亀裂等がないこと							
11	異常回路点検	・ 強制的に異常を発生させ確認する	・ ヒーター温度異常漏電							
			・ インバーター異常							
			・ ベルト切断							
12	動作点検	・ 105℃まで温度を上昇させ確認する	・ 105℃をキープしていること							
13	ファン軸受点検	・ 軸受部注油	・ ベ어링からグリスが目視できること							
14	清掃	・ 乾燥機外部及び内部の清掃を実施する	・ 過大な汚れがないこと							

8. 活性炭脱臭装置

番号	点検項目	点検要領	判定基準	点検	修理	調整	交換	清掃	判定
1	外観点検	・ 外観の目視確認	・ 破損等の異常が無いこと						
2	排気口点検	・ 炉内部から配管内を目視確認	・ 煤等により排気口が塞がれて無いこと						
3	排気口臭気確認	・ 排気口付近で確認	・ 特別臭気がしないこと						
4	プレフィルター点検	・ 取り出して目視確認	・ タールやごみ等で汚れていないこと						
5	異音点検	・ 装置周辺にて確認	・ 異常音がないこと						
6	ファンベルトの交換	・ ファンベルトの交換後目視確認	・ 緩みがないこと						
			・ 亀裂等がないこと						
7	異常回路点検	・ 強制的に異常を発生させ確認する	・ 脱臭装置ブロワ異常						
8	軸受点検	・ 軸受部注油	・ ベアリングからグリスが目視できること						
9	活性炭交換	・ 活性炭を全て交換する	・ 100 kg交換						

コメント

【コメント】

(N01 大型灰化炉)

(N02 大型灰化炉)

(N01 大型乾燥機)

(N02 大型乾燥機)

(活性炭脱臭装置)

《点検要領書兼報告書》

[簡易検査]

1. 灰化炉

番号	点検項目	点検要領	判定基準	点検	修理	調整	交換	清掃	判定	
									NO1	NO2
1	外観点検	・ 外観の目視確認	・ 歪み、汚れ、塗装剥がれが無いこと							
2	扉の開閉点検	・ 炉扉を開閉し動作確認	・ 開閉時負荷が無いこと							
3	扉の密閉点検	・ 炉扉のパッキンあたり具合(密閉)を確認	・ パッキンの周辺に噴出し痕がないこと							
		・ パッキンの品質確認	・ 亀裂、硬化、破損、ほつれ等無いこと							
4	入口額縁点検	・ 額縁を清掃確認	・ タール等の汚れが無いこと							
5	内部点検	・ ヒーターの確認	・ 割れ、変色、亀裂、破損が無いこと							
		・ 断熱材の確認	・ 割れ、灰化に影響する破損が無いこと							
		・ 炉内の異物等確認	・ 性能に影響するタール等が無いこと							
6	給気口点検	・ 給気口の目視確認	・ 障害物・目詰まり等が無いこと							
7	排気口点検	・ 炉内部から配管内を目視確認	・ 煤等により排気口が塞がれていないこと							
8	熱電対点検	・ 熱電対の目視確認	・ 破損が無いこと							
9	棚段点検	・ 棚段の目視確認	・ 性能に影響する変形等が無いこと							
10	ダンパー点検	・ 排気口ダンパー動作確認	・ ダンパーハンドルの回転に応じて開閉すること							
11	フード点検	・ フード目視確認	・ 歪み、汚れが無いこと							
12	排気部点検	・ 排気部の目視確認	・ 連結部が外れていないこと							
			・ タール等汚れが付着していないこと							
13	ヒーター結線点検	・ ヒーターの結線を目視確認	・ 電線に亀裂、破損が無いこと							
			・ 端子部に緩みが無いこと							

2. 脱臭炉

番号	点検項目	点検要領	判定基準	点検	修理	調整	交換	清掃	判定	
									NO1	NO2
14	外観点検	・ 外観の目視確認	・ 歪み、汚れ、塗装剥がれが無いこと							
15	内部点検	・ ヒーターの確認	・ 割れ、変色、亀裂、破損が無いこと							
		・ 断熱材の確認	・ 割れ、性能に影響する破損が無いこと							
		・ 炉内の異物等確認	・ 性能に影響するタール等が無いこと							
16	排気口点検	・ 炉内部から配管内を目視確認	・ 煤等により排気口が塞がれていないこと							
17	熱電対点検	・ 熱電対の目視確認	・ 破損が無いこと							
18	白金触媒点検	・ 白金触媒を取り出し確認及び洗浄	・ 純水洗浄を行う							
			・ 表面に性能に影響する破損が無いこと							
19	排気管点検	・ 排気管を目視確認	・ 連結部が外れていないこと							
			・ 耐熱テープが剥がれていないこと							
20	外気導入口点検	・ 外気導入口を目視確認	・ 異物により塞がれていないこと							
			・ ダンパー位置がずれていないこと							
21	排気部配管点検	・ 排気部の配管を目視確認	・ 連結部が外れていないこと							
			・ タール等汚れが付着していないこと							
			・ 配管固定用ボルトに緩みが無いこと							
22	ヒーター結線点検	・ ヒーターの結線を目視確認	・ 電線に亀裂、破損が無いこと							
			・ 端子部に歪みが無いこと							

3. 制御盤

番号	点検項目	点検要領	判定基準	点検	修理	調整	交換	清掃	判定	
									NO1	NO2
23	外観点検	・ 外観の目視確認	・ 歪み、汚れ、塗装剥がれが無いこと							
24	充電部点検	・ 充電部の目視確認	・ 焼け等破損が無いこと							
			・ 動力回路のビスに緩みが無いこと							
25	安全装置警報検査	確認及び表示灯確認	動作すること							
		・ 灰化炉ヒーター漏電	・ 全停止すること。							
		・ 灰化炉ヒーター異常	・ 全停止すること。							
		・ 灰化炉炉内温度異常過熱	・ 全停止すること。							
		・ 脱臭炉ヒーター漏電	・ 全停止すること。							
		・ 脱臭炉炉内温度異常過熱	・ 全停止すること。							
		・ 給気ブロワー異常	・ 全停止すること。							
		・ 排気ブロワー異常	・ 全停止すること。							
26	プログラム運転検査	・ 自動運転を行う	プログラムにより下記機器が動作すること							
			・ 灰化炉							
			・ 脱臭炉							
			・ 排気ブロワー							
			・ 給気ブロワー							
			・ 冷却ブロワー							

4. 制御盤収納機器性能検査

①. ヒーター通電積算時間表

	NO 1 大型灰化炉	NO 2 大型灰化炉	
前回測定時間 (R 年 月 日)	h r	h r	
今回測定時間 (R 年 月 日)	h r	h r	

②. 灰化炉/脱臭炉ヒーター回路絶縁抵抗測定

点検内容と方法	判定基準	結 果				備 考
ヒーター回路端子とアース端子間に DC250V を印加しメグオームテスターで絶縁抵抗値を測定します	0.2MΩ 以上 / DC250V	NO 1 大型灰化炉	判定	NO 2 大型灰化炉	判定	
		上段 HU1 = MΩ (MΩ)		上段 HU1 = MΩ (MΩ)		
		上段 HV1 = MΩ (MΩ)		上段 HV1 = MΩ (MΩ)		
		中段 HV2 = MΩ (MΩ)		中段 HV2 = MΩ (MΩ)		
		中段 HW2 = MΩ (MΩ)		中段 HW2 = MΩ (MΩ)		
		下段 HW3 = MΩ (MΩ)		中段 HW2 = MΩ (MΩ)		
		下段 HU3 = MΩ (MΩ)		下段 HU3 = MΩ (MΩ)		
結果の () 内は前回測定値	0.2MΩ 以上 / DC250V	脱臭炉 U4 = MΩ (MΩ)		脱臭炉 U4 = MΩ (MΩ)		
		脱臭炉 V4 = MΩ (MΩ)		脱臭炉 V4 = MΩ (MΩ)		
		脱臭炉 W4 = MΩ (MΩ)		脱臭炉 W4 = MΩ (MΩ)		

③. 灰化炉/脱臭炉ヒーター回路抵抗測定

点検内容と方法	判定基準	結 果				備 考
ヒーター回路端子間の抵抗値をテスターで測定します。	3.3Ω ± 0.5Ω	NO 1 大型灰化炉	判定	NO 2 大型灰化炉	判定	
		上段 HU1-HV1 Ω (Ω)		上段 HU1-HV1 Ω (Ω)		
		中段 HV2-HW2 Ω (Ω)		中段 HV2-HW2 Ω (Ω)		
		下段 HW3-HU3 Ω (Ω)		下段 HW3-HU3 Ω (Ω)		
結果の () 内は前回測定値	8.6Ω ± 5Ω	脱臭 U4-V4 Ω (Ω)		脱臭 U4-V4 Ω (Ω)		
		脱臭 V4-W4 Ω (Ω)		脱臭 V4-W4 Ω (Ω)		
		脱臭 U4-W4 Ω (Ω)		脱臭 U4-W4 Ω (Ω)		

④. 灰化炉/脱臭炉ヒーター出力測定

点検内容と方法	判定基準	結 果				備 考
ヒーター出力 100%時の電流値を クランプテスターで測定します 結果の（ ）内は前回測定値	各相 60A 以下	NO 1 大型灰化炉	判定	NO 2 大型灰化炉	判定	
		上段 HU1＝ A (A)		上段 HU1＝ A (A)		
		上段 HV1＝ A (A)		上段 HV1＝ A (A)		
		中段 HV2＝ A (A)		中段 HV2＝ A (A)		
		中段 HW2＝ A (A)		中段 HW2＝ A (A)		
		下段 HW3＝ A (A)		下段 HW3＝ A (A)		
	各相 30A 以下	脱臭炉 U4＝ A (A)		脱臭炉 U4＝ A (A)		
		脱臭炉 V4＝ A (A)		脱臭炉 V4＝ A (A)		
		脱臭炉 W4＝ A (A)		脱臭炉 W4＝ A (A)		

使用計測機器

- ① 絶縁抵抗測定
- ② 抵抗値測定
- ③ 電流値測定

5. 灰化炉温度分布測定

点検内容と方法	判定基準	結 果				備 考
炉内温度を 4 5 0℃に昇温して 温度を 3 0分以上保持する	各段温度 4 5 0℃± 5℃ (各温度調節計表示温度)	NO 1 大型灰化炉	判定	NO 2 大型灰化炉	判定	
		上段温度 ℃		上段温度 ℃		
		中段温度 ℃		中段温度 ℃		
		下段温度 ℃		下段温度 ℃		

コメント

【コメント】

(N01 大型灰化炉)

(N02 大型灰化炉)